

第12回 滝沢市地域公共交通会議 議事録

■ 日時：令和3年1月19日（火） 午前10時00分～午前11時40分

■ 場所：ビッグライフ滝沢大ホール

■ 出席委員（21名）（敬称略、順不同）

三河 孝司（滝沢市副市長）
田村 清隆（岩手県交通株式会社）
藤原 昌広（岩手県北自動車株式会社）
伊藤 純（公益社団法人岩手県バス協会）
佐藤 利樹（一般社団法人岩手県タクシー協会）
大野 尚彦（一般社団法人盛岡地区タクシー協会）
樋口 潤（岩手県交通労働組合）
川村 尚雄（滝沢市自治会連合会）
黒澤 明夫（滝沢市老人クラブ連合会）
上野 幸子（滝沢市男女共同参画サポーターの会）
佐藤 光保（社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会）
山口 恒司（滝沢市PTA連絡協議会）
阿部 正喜（滝沢市商工会）
馬場 真也（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）
小野寺 実（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）
四戸 克枝（岩手県盛岡広域振興局経営企画部）
西村 精一（岩手県盛岡西警察署）
吉本 博之（代理：松原）（東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社）
寺山 雄大（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所）
及川 竜悦（滝沢市都市整備部）
宇佐美 誠史（岩手県立大学総合政策学部）

■ その他出席者

滝沢市長 主濱 了 他 事務局：12名 傍聴人：1名

■ 配布資料

- 滝沢市地域公共交通網形成計画（冊子）
- 滝沢市地域公共交通網形成計画（概要版）
- 福祉バスの運行時刻の変更について【資料1】
- 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討（中間報告）【資料2】
- 滝沢市公共交通マップ



1 委嘱状交付

2 開会

3 市長挨拶

第12回滝沢市地域公共交通会議の開催にあたり挨拶を申し上げます。委員の皆様にはまず雪の中、しかもご多忙の中、本会議に出席賜り誠にありがとうございます。また日頃から本市の市政運営にご協力を頂きまして本当にありがとうございます。併せて御礼を申し上げます。

さて、市では市民にとって利用しやすい地域公共交通ネットワークの実現に向け平成29年に策定いたしました滝沢市地域公共交通網形成計画に基づき関係機関などのご協力を頂きながら各施策に取り組んでいるところであります。現在新型コロナウイルス感染症の拡大により、県内でも公共交通の利用者が大幅に減少し、各交通事業者の経営に大きな影響を及ぼしております。このようなことから本市といたしましては各交通事業者に対して、経済的負担の軽減と市の交通基盤維持を目的として支援金を支給して参りました。さらにバスロケーションシステムの整備にかかる補助やIGRいわて銀河鉄道の車両ラッピングなど、各事業者と連携しながら新型コロナウイルスの収束後を見据えた利用促進策にも取り組んでいるところであります。

また昨年度から検討しております小さな交通需要に対応した交通サービスの導入につきまして、本年度は交通事業者へのアンケート調査やヒアリングを行っております。本日はその結果を踏まえ、来年度以降の取組につきましてご提案を申し上げたいと思っております。皆様からご意見などを頂きたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

結びに、本日は人事異動等に伴い新たに8人の皆様を委員に委嘱させていただきました。委員の皆様には活発な協議をよろしく願いいたしまして挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

4 委員紹介

5 副会長選任

事務局 : 前副市長である 佐野峯委員の退任により副会長が欠員となっておりますので、滝沢市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項に基づき新たに副会長を選任させていただきたいと思っております。要綱では、構成員の中から会長が指名することとなっておりますので宇佐美会長にご指名いただきたいと思います。

宇佐美会長 : それでは引き続き副市長を副会長として三河委員にお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

三河委員 : (引き受ける)

事務局 : ありがとうございます。それでは、協議事項に入らせていただきます。要項第6条第1項により、会長が当会議の議長になることとなっておりますので宇佐美会長、進行についてよろしくお願いいたします。

宇佐美会長 : それでは議事に入らせていただきます。

その前に毎年この時期の少し後に、うちの学生がこの場をいただいて発表させていただいていました。今回は網形成の中でも市長の肝いりで、直接お話を頂いた小需要交通について、今年度打合せに何回も入って議論してきたところをご説明させていただきます。毎回ですが忌憚のないご意見をいただいて来年度に向けて実りあるものになればと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。市長も何かありましたら口をはさんでいただければと思います。よろしくお願い致します。それでは次第に沿って進めたいと思っております。

6 議事

(1) 福祉バスの運行時刻の変更について

事務局 : ~「福祉バスの運行時刻の変更について」を【資料1】により説明~

宇佐美会長 : ありがとうございます。只今事務局から説明がありましたが、何かご質問・ご意見ございましたらよろしくお願い致します。

佐藤(光)委員 : 福祉バスの運行時間の変更とありますが社会福祉協議会の事業の関係上、非常にバスの運行に関心があります。また利用者の方から沢山の意見が寄せられています。今年は、変則的でなかなか今まで通りには利用が出来なかったという意見があります。コロナ関係で事業が途中で中止、あるいは再開して更に中止しかも時間の変更がありました。バスの利用について色々ありましたが、利用者から意見をたくさんいただきました。その1つに、教室は午前で終わるのにバスの15時までずっと待つというのは、関係者から何からきつい指摘を受けました。例えば15時のバスに乗るということは昼飯を食べることになります。しかし、市などでは皆で集まって食事は駄目だという指導がありました。

色々指摘があるなかで、バスの時間だけは15時というのはどうも利用者からすると困るという話です。学生それぞれが自分なりに考えて対応してきたというのが実態でした。そういうことなので、13時にしてくれたのは利用している方々からすれば嬉しいことだろうと思います。

それから今年度は授業が全休となり、かなり休む結果となりました。その時間帯もバスは往復定時に走っていました。それを教室の関係者や地域の人達、市民は皆見えています。「なんで空のバスが一生懸命走っているのだろう。」「誰も乗っていないよ。」と。あるいは教室に通っている人達は、「我々には来るなど言っているのにバスは走っているのならやったらいいのではないか。」という意見も当然ありました。色々な意見がたくさん寄せられてきますので、社会福祉協議会の中でも非常に困りました。そこら辺は事業と一体化したようなバスの運行を当然やるべきだと思います。当初取り決めたのだからバスを往復走らせないといけない、という決まりなのでしょうが、ただ市民感情としては必ず良いものではないということを指摘したいです。これからも福祉バスは睦大学主体の利用者の利便を考えておりますので、利用者の状況や状態に合わせたバス運行をしていくべきです。これは市も三者の方々も意見はあるでしょうが、やはり市民感情からしてベターではないと感じています。今後とも十分に配慮してバス運行をしていただきたいと、意見として申し上げておきます。以上です。

宇佐美会長 : はい。ありがとうございます。何かコメントはございますでしょうか。

事務局 : 貴重なご意見大変ありがとうございます。空バスを走らせていたというご指摘を頂きました。一般客を乗せるということもあり、バス会社さんとの契約もあり今回空バスになったところも一部あります。利用に合わせてバス時間を変更するという事でバス利用者の増加ということも想定出来ます。今後利用者の動向調査、高齢者支援課とも連携をとりながら効率の良いバス運行について検討していきたいと思えます。よろしく願います。ありがとうございます。

佐藤(光)委員 : 利用者があるという話ですが、実態の利用者がどれくらいあるのか。ほとんどが空バスです。今ご説明頂きましたが、バスの実態を見て欲しいです。やはり状況を見ながら、現実に合わせて対応して欲しいです。以上です。

宇佐美会長 : 難しいところで、このバスが睦大学専用のバスであれば良いですが、色々な目的があって、ただ主たるものが睦大学なのではないかと思えます。利用状況に応じて柔軟に変えていくことをしっかりやっていただくということを考える必要があるようです。勘案しながら今後も進めていきたいです。他に何かございますでしょうか。それではこの通り変更していくということで進めていきます。

次第の(2) 小さな交通需要に向けた実証実験について説明をお願いします。

(2) 小さな交通需要に向けた実証実験について

[小さな交通需要に対応した交通サービスの検討(中間報告)]

事務局 : ~「小さな交通需要に向けた実証実験について」[小さな交通需要に対応した交通サービスの検討(中間報告)]を【資料2】により説明~

宇佐美会長 : はい。ありがとうございました。ただいま事務局から最後の方に説明がありましたが、利用するのは県立大学と（株）ピーぷるさんとで共同開発したシステムになります。明日の19時57分にIBCで大学の広報番組として2分半放送されるシステムが今回利用するものになります。放送後は、県立大学のYouTubeチャンネルで5分バージョンの動画が配信されます。是非ご覧ください。今回利用するシステムを用いて、金ヶ崎町で1カ月間コミュニティバスの乗降試行実験を行っています。データ取りを、同様にICカード用いて、このシステムを使い行いました。スマホにICカードをタッチさせた時に位置情報をとって、それをサーバーに送って積み重ねていったデータをどう整理するかという話です。今回もそういうようなことを考えているということです。電子的なもので位置情報を取って需要をしっかりと把握しようということです。こういうシステムを使って滝沢市でもタクシー需要を見に行こうと考えています。また今のようなコロナ禍においてタクシーに調査員が乗り込んで話を聞くというのは現実的ではありません。毎回毎回タクシーに乗っていても人件費がかかります。とりあえず試行実験で行いますが、このシステムは単に試行実験用のものではなく本格運用にも十分耐えられるものなので、上手く行ったらこのシステムを定着させるというのも考えていけます。補足的なシステムの説明は以上です。

長い説明になりましたが質問があるのではないかと思います。ご意見もあると思いますので色々出していただけるとありがたいのでよろしくお願いします。

～質問なし～

出ないので、一つ聞きたいことがあります。P9のスライドのところでは小岩井地区で住民の皆様で輸送サービスを展開されていますが、利用状況はどんなものですか。

事務局 : 利用状況につきまして、人数については詳細には資料が無く不明です。利用実態につきましてはやはり足の不自由な方で公共交通の利用が難しい方が主な利用者、移動範囲としては資料にも記載させていただいていますが、滝沢市、雫石町、盛岡市まで移送しておりますのでこちらの方は既存の公共交通サービスと競合がないかどうかを十分に重視していきたいと考えています。

宇佐美会長 : しっかりやりとりしていただいて、どういう状況か把握して貰えればよいと思います。

他に何かございますでしょうか。

四戸委員 : 小集落地域という話でしたが、対象となる方々の母数ですとか、新しいシステムを使うとなると周知や使い方が難しいと思います。合わせて教えて下さい。

事務局 : 対象につきましては小需要地域、姥屋敷や柳沢地域の全世帯の方々を対象としたいと思っています。こちらにつきましては予算との兼ね合いもありますので変更となる可能性もありますが、理由としましては体の不自由な方々が対象ということではなくて実際公共交通機関が無い地域ということで小需要地域全体が交通弱者になってしまっているということをお案しまして全世帯を対象として実施したいと考えております。

- 宇佐美会長 : これまでの調査で大体どれくらいの人達が利用者として想定されるかという辺りから、どれくらいの規模かということですよね。規模感としてはどれくらいなのでしょうか。
- 事務局 : 世帯数につきましては資料の方で説明させていただきました、資料P5、6で説明させていただきました世帯が対象となります。世帯数の資料を確認しておりますので少々お待ち下さい。
- 宇佐美会長 : 既存のタクシーを利用している人というのは利用対象外という説明だったと思いますが、そういうのを省いていった時にどれくらいの人を対象になってくるのかというところですか。
- 事務局 : お待たせしました。対象世帯としましては柳沢地区で264戸です。世帯というよりは建物で1として考えていきたいと思っています。姥屋敷地区につきましては対象が80戸となっています。以上です。
- 宇佐美会長 : そこから今回に適さない人を省いていった人達が対象者ということですか。それをどう区別するのが難しいと思います。普段から利用している人でも、してないと言えば、この辺りは難しいと思います。そういう人達にどうやって周知して説明していこうかというところがもう一つの質問です。
- 事務局 : 周知の方法につきましても今後の検討となりますが有効な手段としましては回覧や広報での周知、また2つの自治会に限られていますので直接地域に入ってご説明させていただきたいと思っています。
- 宇佐美会長 : 本番で使うシステムを持って行って実際に使う可能性のある人に練習、デモ、自身でやってもらって想像がつくものにしてもらわないとなかなか難しいと思います。ただ金ヶ崎町の実験の様子や他の日に撮影された動画を見ると、最初の1~2回はICカードを使ったことがない、Suicaを使ったことがないということでどこにどれくらいタッチしたらいいのか、タッチしてからどれくらいで離れたらいいのかと、結構困られる様子を見ました。しかし3~4回になると完璧にマスターされている人がほとんどでした。高齢者の人であっても。予めどれくらいしっかり説明と体験をしてもらうかというところが大事だと思います。なるべく丁寧に説明をしていただければありがたいなと思っています。
- 他にいかがでしょうか。
- 大野委員 : 盛岡地区タクシー協会大野です。2~3お聞きしたいです。
- ①スライドP18の「実証実験における運行のイメージ」のなかで運賃は全額補助ということは全て無料でタクシーを利用できるということになるのか。
 - ②運輸支局さんへの質問になると思いますがデマンドとかコミュニティだと公共交通会議のなかで合意できれば協議運賃というのがあると思います。タクシー運賃も協議運賃というものがあるかどうか、待機料金を事前に試算して実際にメーターをかけて走ると重複するような気がしています。これは運送上、協議運賃のなかで包括して対応できるものかどうか。
 - ③複数の事業者で持ち回りということになりますと、運送の申込はほとんど電話だと思っています。電話番号を持ち回りの各社さんの電話番号にすると電話される方が迷われるのではないかと思います。

可能性としては滝沢市役所さんにコールセンターを置いて、そちらから持ち回りの事業者に運送依頼が来る形が良いと思いました。そうしないと利用される方がどこに電話すればいいか、電話しても多分最初は住所・番地・ゴミの集積場の近くとか、そういう我々の通常営業しないエリアで営業をしなければなりませんのでドア to ドアで到着するための情報というのが最初は必要かと思います。

3点をお聞かせ下さい。

宇佐美会長 : では①と③をまず事務局に答えていただければと思います。

事務局 : ①無料についてご説明させていただきます。今回の実証実験につきましては、最大の需要を把握したいという意図もございますので、無料で実施したいと考えております。

③コールセンター等については、事業者様に何社手を挙げていただけるかにもよります。複数事業者様から手を挙げていただいた際にはこういったシステムを考えていかなければならないと思っております。ただ報告でもご説明させていただきましたが、「ゴミ集積所までお願い、誰々さんの家までお願い。」という頼み方に対応していけるのもマイタクシー意識という利用者様の安心感につながります。すぐには難しいと思いますがそういった地域のタクシー事業者様のような形になっていただくというのも最終的には考えていければと思っております。

以上です。

宇佐美会長 : 今回、ICカード型のチケットを配布する時に住所などを把握しますよね。そうするとその人が頼んだことが分かれば、まず地図上に何らかの方法で表示させることは可能ではないかと思えます。目的地が不案内となる場合もあるかと思えますが、どんどん使っていただいて事業者さんにも慣れていただいて、利用者が利用したくなるようなものを目指すことが出来ると良いと思えます。とりあえずこの2つはいいですかね。

②の協議運賃ということで待機運賃とメーターの重複が質問です。タクシーにおいてあるのかというところです。

馬場委員 : タクシーの協議運賃は残念ながら無いです。市さんが借上げて実証実験をするという理解で良かったでしょうか。

宇佐美会長 : 借上げでいくということと、あとはメーターの合算で市に請求するかという2通りあると思いますが、どういう風にされるのか。

事務局 : 実証実験は、借上げさせていただきますして実証実験を行いたいと思えます。本格運行の際には待機料をお支払いさせていただきます。その料金が重複するという部分につきましては、市からタクシー事業者様へ待機料金をお支払いして、市民の方々からは市へタクシーチケット等を購入して料金を支払う形にします。二重にならないようにしていければと考えています。今後なかなか難しい部分かと思えますが支局さんにご指導頂きながら進めていきたいと思えます。

宇佐美会長 : 実験時もメーターを倒してどれくらいどう費用がかかってくるかやった方が良さそうですね、借り上げといっても。

大野委員 : 運行経路は是非やりたいです。ただタクシーチケットは有料で販売するわけですか。

- 宇佐美会長 : 本格となったらそうということですね。
- 事務局 : 実証実験は無料ですが、本格運行の際は負担をいただきたいと思います。
- 大野委員 : 電話の件ですが、慣れたところに1カ月終わってしまいそうです。細部を詰めた方が良いと思います。電話番号を2つも3つも覚えて下さいというのは多分無理だと思いますので、どこか1本に集中する形で検討された方がよろしいかと思います。宇佐美先生からお話がありました事前にこの方の住所とか番地が分かれば登録しておくことが可能です。これがどなたの家なのか分かれば良いです。それとご利用される方もワンストップで窓口1本の方が良いと思います。検討をお願いします。
- 宇佐美会長 : 貴重なご意見ありがとうございます。いかがですか。
- 事務局 : 先ほど理想的なことを申し上げてしまいました。確かに実証実験を1カ月となると多く利用していただきたいということもありますので一本化するなど利用者が使いやすい形で考えていきたいと思います。ありがとうございます。
- 宇佐美会長 : 事業者さんが決まった後はしっかり相談しながら一緒に仕組みを作っていくことが持続的なところに繋がると思います。そこに市民の皆様もそこに係って頂けると嬉しいです。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
- 大野委員 : 実証実験でもメーターをかけるので、当然タクシーメーターに運賃が表示されるわけですが、どういう取扱いになりますか。この分は支払わなくてもいいですよ。と毎回いう必要がありますか。それともメーターを隠すという方法もありますが。
- 宇佐美会長 : 隠した方が良いのではないのでしょうか。あとで運転手さんがいくら見ていただく方がいいと思います。そのメーター上がっていくのを見たら結構不安になると思います。
- 大野委員 : そうですよ。運賃は必要ですよ、どの程度のご利用があったという実績として実証実験でデータとして必要ですよ。
- 宇佐美会長 : ICカードで距離は分かりますが、タクシーメーターは時間と連動しているところがあるのでやはりタクシーメーターを使わないとどれくらいという把握がしにくいと思います。
- 馬場委員 : 基本的に、借上げは“貸切”と表示されますので、通常メーターは出さないと思います。初乗り+距離で運賃は分かりますので必ずしもメーターは必要ないのかなと思います。
- 宇佐美会長 : なるほど。エリアがエリアなので時間加算の部分がどれくらいあるのかが確かにあります。ICカードで距離を測ってその分でいくらという想定を行ってもアリかと思います。ちなみに“貸切”の表示にしたらタクシーメーターは動きませんか。
- 大野委員 : 取り決め上はメーターをかけてカバーをしなさいとなっています。基本的には乗車中はメーターを入れなさいというのが大原則です。
- 宇佐美会長 : なるほど。この辺りも要検討ですね。
- 事務局 : 色々実施にあたっては課題もあると思いますので、詳細については大野様、運輸局様にご指導いただきながらつめていきたいと思いますので、よろしく申し上げます。ありがとうございます。

- 宇佐美会長 : ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
- 佐藤（光）委員 : 地域は姥屋敷や柳沢限定ですので、乗る人が福祉バスと同じで更に限定になるのではと思います。自家用車持っている人は乗らないですね、逆にどれだけ需要があるか疑問もあります。ただ姥屋敷や柳沢地域の足を守ってあげたいというのも事実です。持続可能な形になれば良いです。予定を見ますと実証実験は借上げでいいですが、1カ月間のデータを取って分かるのかなと、率直に思います。実際行ってみて考えが変わったとなると、困るなと素人ながら心配します。どのようなものかと疑問があります。
- 宇佐美会長 : ありがとうございます。1カ月という実験期間に対してのご質問でした。いかがでしょうか。
- 事務局 : 先ほどもお伝えさせていただきましたが、金ヶ崎町様で実証実験をされておりまして、そちらの運行期間につきましても1カ月でデータが取れているという情報を頂いておりますので、本市におきましても1カ月で実施したいと思っています。
- 宇佐美会長 : 最初はもう少し長くやってもという考えもありましたが、こうなりました。金ヶ崎町で行っているのを見て面白かったのが普段公共交通に乗らない人が全路線を乗っていたりしました。普通に使わない人達が結構使ったと思います。普段使う人は使っています。本当に最大限の需要が測れたと思います。本当はこういう試行実験であっても有償でやった方が良くと思います。しかし最大限の需要がどれくらいあるか見たいということなので、1カ月でも取れそうだという判断で行います。いかがでしょうか。
- 大野委員 : ちなみに1カ月やってみて、どういう状況で次に判断していくのでしょうか。凄く興味があります。
- 宇佐美会長 : そのデータをどういう時にどういう所からどういう所にどれくらいの人達が移動しているかというデータを蓄積していくわけですが、そういうのを集めていってこの場での議論になりますが、そういったときに、どの辺りまでいったらどうだというのが今の段階では言えないと思います。何か今の段階でお考えがあれば。
- 事務局 : やはり利用実態がどうかということをも明らかにしたいです。その結果で変わってくるものですが、その調査結果を分析して利用人数が少なければこうだとか、多くの利用者がこの施設からこちらに向かっているという有効な情報がとれましたらデータに基づいて総合的に判断していきたいと思っています。
- 宇佐美会長 : というので、今どうこうは言いにくいです。
- 大野委員 : 分かりました。
- 宇佐美会長 : 他にいかがでしょうか。
- 事務局から説明がありました案で、皆様から頂いた意見や事業者調整を踏まえて具体案を再度3月の公共交通会議でまたお諮りする予定です。よろしくお願ひします。委員の皆様もお気付きのことがありましたら適宜事務局へご連絡いただければと思います。ということで（2）小さな交通需要に向けた実証実験については終わりたいと思います。

(3) その他

宇佐美会長 : (3) その他 がありますが委員の皆様から何かございますでしょうか。よろしいですか。無いということで議事3つ終了しました。
ということで進行を事務局にお返しします。
委員の皆様ご審議いただきましてありがとうございます。

事務局 : 宇佐美会長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様におかれましてはご審議の方ありがとうございました。

7 その他

事務局 : 続きまして、次第7その他、皆様から何かございますでしょうか。無いようなので、閉会にあたりまして事務局よりご挨拶申し上げます。

8 閉会

事務局 : 改めまして、本日はお足元の悪い中お集まりいただき熱心にご協議いただきましてありがとうございました。あらためて感謝を申し上げます。市としては各方面から要望があります。しかしながらニーズはどのようなのだろうかというのが課題だと捉えています。この実証実験を通じてその辺を明らかにしながら次の展開にいければと考えています。次回3月15日の公共交通会議におきましては、ある程度方向性につきましてはご確認いただきましたので、具体的なところをお示しながら次の実証実験に向けて参りたいと考えております。今後とも市の施策に対してご意見等賜りますようお願い申し上げまして最後の挨拶といたします。本日は大変お忙しい中ありがとうございました。

事務局 : 次回の公共交通会議につきましては、3月15日、月曜日の午後を予定しております。詳細につきましては後日通知を入れさせていただきますので委員の皆様におかれましては予定の確保をお願いいたします。

以上をもちまして第12回滝沢市地域公共交通会議を閉会させていただきます。本日は大変ありがとうございました。